

こんにちは もうり 栄子です



予算案に対し反対討論（3月12日）

三寒四温を繰り返しながら、ようやく春がやってきました。お元気ででしょうか。
新しい生活のスタートを喜ぶべき4月ですが、物価高は一向におさまらず、特にお米の値段は食べ盛りのお子さんを抱えるご家庭にとってはなおさら家計を直撃しています。
長野県の新年度予算は1兆118億円余。医療や健康、介護やくらし、安全、安心を支える予算になっているかという立場で慎重審議させていただきました。



警察委員会

★長野駅前の殺傷事件を受けて容疑者逮捕に大きな役割を果たしたという防犯カメラですが、映像解析に時間がかかるため新たなソフト購入の予算が提案されました。質疑の中でこのソフトは5年リースで2000万円盛り、当面県下の警察署に22式備えるもので、解析時間が5分の1程度になりスピード感を持った犯人特定に有用であるとのことでした。

★受験シーズンに公共交通機関などで発生する痴漢について質問。痴漢は胸やお尻を触る程度のもので大騒ぎする問題ではないと軽く扱われがちですが、生活に大きなダメージをもたらすものであり、その後の人生を左右する問題でもあることから警察の認識を質問。

県警本部長は「痴漢は重大な犯罪である」と明言。課長は長野県迷惑行為等防止条例で6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金が科せられると答弁。教育委員会など他部局とも協力し、未然防止に取り組むよう求めました。

総務企画委員会

★25年度を目途に、県や市町村の行政情報をデジタル化することによって標準化する施策が進められていますが、進捗状況を質問。担当課長は国平均の半分、3%程度が残っていると答弁。

国はランニングコストを各自治体の負担にしている。当初は経費が3割削減になるとしていたが、中核市の試算で平均2・2倍になるとの調査結果が出ている。長野県ではどうかと質問しました。不確定の要素があり試算はしていない、今後注視していくと答弁。国への財政支援を求めるとともに、県民に身近なサービスは対面で丁寧に行うよう求めました。

★兵庫県で問題になっている知事などへの公益通報制度について、長野県の場合、

の運用を質問。長野県では知事や副知事に係る通報があれば弁護士2人からなる第三者委員会で対応するようにしており、通報者の保護や意思を尊重し、不利益扱いはしない対応をしている。報道機関などへの通報も3号通報と認められるとのことなので、犯人探しはしないこと、風通しの良い職場にするための不断の努力や検証を求めました。



毛利委員

オスプレイの緊急着陸で知事申し入れ

アメリカ軍普天間基地所属のオスプレイが3月25日、松本空港に緊急着陸し、県民から不安や憤りの声が寄せられるもとで、3点の知事申し入れを行いました。

①緊急着陸に関し厳しく抗議すること。②飛行の目的やルート、緊急着陸の原因について米軍が責任をもって説明するよう政府関係機関に求める

こと。③飛行の際の事前情報の公表、市街地や観光地などの上空を飛行しないこと、日米地位協定の見直しや米軍にも日本の航空法を適用するよう要望すること。

県と松本市が地元区と「軍事目的には使用しない」と協定を結んでいることを踏まえ再飛行しないよう厳正な対処を求めました。（裏面に写真）

5000円のガソリン券

県内すべてのスタンドで使えるものに

「生活困窮者ガソリン緊急支援事業」が開始され、住民税非課税世帯などで1世帯当たり5000円のガソリン券を受け取ることができますが、問題となっている長野県石油商業組合加盟の358店舗で利用できるのみで組合非加盟の200店舗では使えないため、手続きの簡素化と共に改善を知事に求めました。

（裏面に写真）



知事・正副議長・各会派代表者との懇談会（1月21日）

